

1. 内政

ティモシェンコ前首相に対する刑事訴追

・7日、検事総局及び国家保安庁は、「ウクライナ統一エネルギー・システム」社に関するティモシェンコ前首相に対する2件の刑事訴追を6日付で統合、国家保安庁付属調査グループを設置した旨発表。同日、国家保安庁は、ティモシェンコ前首相の再逮捕を要求する書類をキエフ市シェフチェンコ地区裁判所に提出した旨発表。

・8日、キエフ市シェフチェンコ地区裁判所は、ルキヤノフスク未決囚拘置所にて「ウクライナ統一エネルギー・システム」社関連の刑事訴追に基づいた裁判を実施、ティモシェンコ前首相の再逮捕を決定。

・9日、国家刑務所管理庁は、保健省専門家グループによって行われた診断の結果、ティモシェンコ前首相に対する外科処置及び拘置所外における治療の必要は無いことが判明した旨発表。

大統領の動き

・6日、ヤヌコーヴィチ大統領は、ドネツク州を訪問、エナキエヴォ冶金工場等を視察。8日、ヤヌコーヴィチ大統領は、ドニプロペトロフスク州を訪問、地方連携会議に出席し、地方改革実現の状況等につき各地方自治体長等と協議。

・8日、ヤヌコーヴィチ大統領は、11月17日に最高会議にて採択されていた新たな「最高会議選挙に関する」法案に署名、同法案は最高会議議員の80%以上が賛成した望ましいものである旨発言。

最高会議の動き

・6日、キリレンコ最高会議BYT会派代表は、BYT議員は、ティモシェンコ前首相の釈放を条件に、与党提案による経済関連法案に賛成する用意がある旨発言。一方、BYTは、同発言は個人的な意見であり与党との取引には応じられない旨の声明を発表。7日、BYTは、キリレンコ代表による辞表を受理、後任にコジェマキBYT議員を選出。同日、マルチニウク最高会議第一副議長は、BYT会派代表の交替を承認。

・6日、リトヴィン最高会議議長は、NUNS議員1名の脱退を発表。NUNS議員は計65名に減少。9日、同議長は、地域党議員1名の脱退を発表。地域党議員は計192名に減少。

2. 経済

マクロ経済

・6日、財務省は、1～10月の国家債務を国内外併せて9.8%増の445億ドル、その内、財政赤字を7.6%増の191億ドル、対外債務を11.2%増の254億ドルと発表。

・7日、中央銀行は、外貨準備高が11月期において5%減

少し324億ドルになった旨報告。同準備高は、2010年7月以来最も低いレベルの準備高。

・7日、国家統計局は、11月期の消費者物価を0.1%増加、年当初よりインフレ率の上昇を4.4%、11月期の生産者物価を0.6%増、2011年1～11月期の生産者物価を16.3%増と発表。

金融・バンキング

・8日、中央銀行は、本年未までに通貨政策の引き締めの継続を発表、同政策により金利の上昇を許容することにより、為替レートの安定化及びインフレ率抑制を図るとしつつ、2012年に通貨政策の新しい制度を導入する旨発表。

・9日、中央銀行は、通貨第1カテゴリーに露ルーブルを含める計画である旨報告。アルプソフ中央銀行総裁は、本件は既にIMFと調整中であり、露ルーブルの補充はロシアとの貿易取引において使われる旨発言。

農業

・5日、クヴァシャ農業政策・食料省経済局長は、今穀物市場年における穀物輸出量見通しについて、当初見通しの2,600万～2,700万トンを11～12%引き下げ、2,300万～2,400万トンとした旨発表。

・9日、最高会議は、土地市場に関する法律案を第1読会で採択。同法案では、ウクライナの農地はウクライナ国民及びウクライナ国家にのみ売却可能。また、一人当たり100ヘクタールまで購入可能。法案が採択された場合、2013年1月1日に発効予定。

・9日、ブリシャジニウク農業政策・食料相は、農業分野における輸入製品の輸入税見直しをWTOに提案するよう準備している旨発言。

・9日、セン農業政策・食料省次官は、今穀物市場年の開始日(2011年7月1日)から12月7日までの間に730万トンの穀物が輸出(対前年同期比で170万トン増)された旨発言。

その他

・7日、コレースニコフ副首相兼インフラ相は、ヒュンダイ高速列車「ウクライナ・エクスプレス」のサービスを2012年5月15日に開始する旨報告。国家鉄道輸送管理庁とヒュンダイは、ユーロ2012のために訪問する乗客を輸送するために10の高速列車を供給するための契約に署名。

・8日、地方管理庁は、キロヴォフラード州の原子力燃料の加工工場の建設のための土地分配計画を承認した旨報告。かつては欧州炭坑加工工場に使用されていた場所であり、加工工場の費用は3～3.5億米ドルと見積り。

3. 外政

グリシチェンコ外相のアフガニスタン支援会議出席

・5日、グリシチェンコ外相は、ドイツのボンで開催されたアフガニスタン支援会議に出席、ウクライナはアフガニスタンの治安がアフガニスタン政府により首尾良く管理されることを期待する旨、またそのために、ロジ面と治安機関職員の訓練を通じて支援していく意向を表明。

・グリシチェンコ外相は、ダーヴトオール・トルコ外相と会談、両外相は、両国は真の意味で戦略的パートナーのレベルに到達した旨述べた。

・グリシチェンコ外相は、ズィバーリー・イラク外相と会談、ウクライナ企業は、イラク政府から新たな契約を受注することや民間会社との協力に関心を有している旨発言。これに対し、ズィバーリー・イラク外相は、ウクライナのハイテク製品供給に満足の意を表し、かかる関係を拡大したい旨発言。

グリシチェンコ外相のOSCE外相理事会出席

・6、7両日、グリシチェンコ外相は、リトアニアのピリニウスにて開催されたOSCE外相理事会に出席、アジュバリス・リトアニア外相、ヴェスターヴェレ独外相、ラブロフ露外相及びラッド・オーストラリア外相等と会談。リトアニア及び独外相とは、19日のウクライナ・EU首脳会議の準備状況に関し、露外相とは国境策定作業に関し協議。また、オーストラリア外相との会談では、オーストラリア側からチェルノブイリ石棺基金へ100万ユーロの拠出が表明。

・6日、グリシチェンコ外相は、飯村政府代表と立ち話を実施、原発事故対策にかかる協定等につき協議。

GUAM外相会合及び「GUAM + 日本」会合の開催

・7日、リトアニアのピリニウスで開催されたOSCE外相理事会の機会に、GUAM外相会合及び「GUAM + 日本」会合が開催。GUAM外相会合では、運輸、エネルギー、観光、医療等のプロジェクト実施を含んだ協力関係の強化の必要性等につき協議。「GUAM + 日本」会合では、政治的対話の強化や多年にまたがる中期計画策定の必要性等に関し議論がなされた。

アザーロフ首相のレバノン訪問

・7、8両日、アザーロフ首相は、レバノンを訪問、スレイマン

大統領、ベッリ議会議長及びミーカーティー首相と会談、両国関係、特に自由貿易やエネルギー・農業分野等での協力に関し協議。

アザーロフ首相のモンテネグロ訪問

・9日、アザーロフ首相は、訪問先のモンテネグロにおいて、ルクシッチ首相と会談。両者は、文化、教育、観光、航空運輸及び防衛分野における協力協定に署名、共同で記者ブリーフィングを実施。ルクシッチ首相は、本協定は、両国関係の緊密さの証であり、経済協力等の今後の更なる協力に向け大きな潜在力があることを示している旨発言。

4 . 防衛

・5日、ヤヌコーヴィチ大統領は、ウクライナ軍創設20周年記念式典において、ウクライナ軍改革は最優先事項の一つであり、2012年度予算において軍事装備品開発及び近代化を推進する旨発言。

・5日、ヤヌコーヴィチ大統領は、ウクライナ軍隊法の改正に関する法律に署名、テロ・海賊の取り締まり、公海上での武器等密輸の取り締まり等にあたっての平時における武器及び軍装備品の使用範囲が拡大。

・8日、シェモニアク・ポーランド国防相率いる軍事代表団が公式訪問、二国間防衛協力のさらなる発展、EU及びNATOとの協力等を議論。

・9日、ヤヌコーヴィチ大統領は、コートジボワールでの国連平和維持活動を支援するための平和維持部隊員60人を派遣する命令に署名。

5 . 二国間関係

平成23年度対ウクライナ草の根・人間の安全保障無償資金協力2件のG / C署名式

・8日及び9日、平成23年度草の根無償「チェルカースィ地区中央病院における医療機材改善計画」(供与限度額約10万3,000ドル)及び「ヴィジニツァ地区中央病院における医療機材改善計画」(同9万5,000ドル)のG / C(贈与契約)署名式を実施。

(了)